

令和6年 7月号



はな歯科通信



東京医科歯科大学連携医
麻布十番 はな歯科
HANA * DENTAL CLINIC

TEL : 03(6453)6033
FAX : 03(6453)6034
訪問歯科ご依頼の際は
いつでもお電話ください

はちまるに一まる
今年も「8020達成者」を推薦します

ハロハロの季節がやってきました
熱中症に気を付けましょう♪

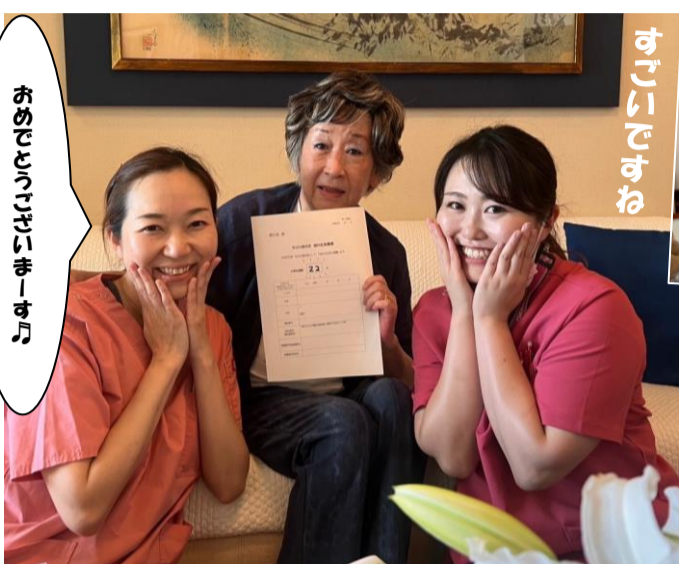


パチパチ
グリーンソーダ

港区以外在住の患者様には
はな歯科から表彰させていただきました♪



おめでとうございます♪



すくいですわ



港区では80歳以上で親知らずを除き（港区在住の方）
自分の歯が20本以上ある人を表彰してくれます

今月のテーマは「子供の頃、わたしはこれになりたかった」

院長の想い



はな歯科通信、今月のテーマは
「子供の頃、わたしは
これになりたかった」です。

私の父親は元建築、母親が
元美術雑誌の編集長で、両親
共に会社経営をしていました。
母親が時代にしては珍しく仕
事大好き、フルタイムで働い
ていたため祖母の家に預けら
れることが多かった幼少期。

まだ祖母の家に暮らしてい
た歳の離れた母の妹2人と姉
妹の様に一緒に過ごすことが
多く、私が小学生の時、姉
(叔母) 2人は歯科大学生で
した。

小さい頃から絵を描くこと
と生物が大好きで、「将来は
画家になりたい」と思ったり、
中学生は同級生とバンドを組
んで、「音楽の道で生きてい
く」と思った時期もありまし
た。

結局身近だった歯科医にな
ることになるのですが、歯医
者という仕事はとても楽しく、

毎日「本当に歯医者になって
よかったなあ」と思いながら
過ごしています。

今回書いていて気づいたので
すが、歯医者という仕事は
「患者さんの顔に馴染む様に
美しく仕上げる芸術的セン
ス」、「長持ちする様に一か
ら組み立てていく建築的セン
ス」が必要であり、さらに幼
少期に一緒に過ごした祖母が
身近で「高齢者歯科」を専攻
し、はな歯科通信で「編集、
出版」し、挙げ句の果てに患
者さんのお家でギターを奏で
ることもあるという、今まで
の生い立ち丸ごと今につな
がっているのですね。

今年で45歳。大人になっ
てやりたいことを真剣に考え
るということは、自分のルー
ツをたどっていく事なのかも
しれません。

まだ道半ば、懸命に、地道
に日々を積み重ねていきたい
と思います。

(院長 小川)



音楽活動も続けています♪

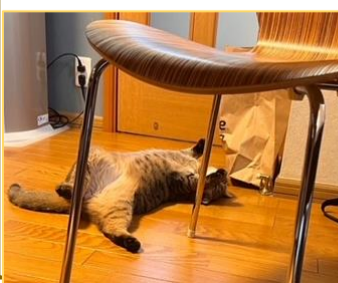


癒し♥

コーナー



なでなで♥





フルヤ ナナエ
古屋 七重

子どもの頃、
 私はこれになりたかった

物心ついた頃の記憶を辿ると、
 子どもの頃から私は食いしん坊でした。

親に「小さい時〇〇に出かけたでしょ？」と言われても全く思いだせないのですが
 「ほら、あの時あそこで〇〇食べたじゃない！」

と言われると、あー！あそこね！行った行った！
 と急に思い出すという、食べ物と記憶を結びつけているような子どもでした。(今もですが笑)

そして、親も何を食べたか覚えていないことは親も食いしん坊ということですね笑。
 そんな私が一番初めになりたかった職業はパン屋さんでした。

小麦粉と牛乳と卵を混ぜて、こねて
 いろんな形にして発酵して膨らませ、そして焼き上がると美味しいパンになっている。そういう絵本をみて、うわー、パン屋さんで魔法みたい、とワクワクして、大きくなったらパン屋さんになる！と宣言していました。

次になりたいと思った職業は小児歯科医でした。
 子どもの頃から歯並びが悪かった私は井上先生という優しい女の先生に長いこと歯並びを矯正してもらっていました。

人見知りで、親以外の大人と話すのが大の苦手でしたが、井上先生はいつも私をニコニコと迎え入れてくださり、ほっとしたのを覚えています。正しい歯みがきの仕方も教えてもらいました。



井上先生みたいな優しい先生になりたい、と思い、小学校の卒業文集には、将来の夢は小児歯科医になること、と書いていました。

小児の専門ではありませんが、現在もこうして歯科医師として働かせていただいていることは本当にありがたいなと思っています。

井上先生のようにほっとする診療を心がけていきたいと思っています。これからもどうぞよろしく願います。

(歯科医師 古屋)

古屋先生と愛猫しおくん
 同じ誕生日だそうです



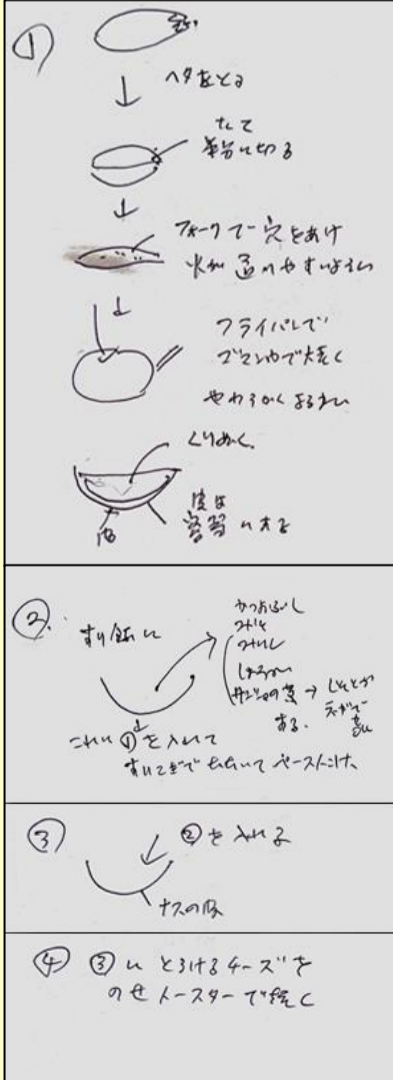
患者様のご家族の手作りやわらか食！



- 豆腐と牛蒡と生姜の肉団子のスープ
- ナスのペースト
- (ナス サンショウ 生姜 みりん)
- ハンペン ヨーグルト パセリ
- 伊達巻き (ハンペン卵みりん砂糖塩)

- ナス×梅、味噌 2種
- ジャガイモローズマリー
- 新生姜と野菜のカボチャのスープ
- 生姜ごはん
- ブリカマと、にこごり
- ピーマンのムース

ナスのペーストの作り方



- しゃけとじゃがいも
- バターのかき込みご飯
- フレンチトースト (卵 牛乳 砂糖)
- バナナペースト (バナナ、砂糖、バターをチンしてつぶす)



ホテルの朝食のようなふわふわオムレツが作れます



以前紹介した秘密兵器「メレンゲホイッパー」を使いますよ



卵白と卵黄をわけたら塩、コショウ、マヨネーズ、泡立てた卵白と卵黄を混ぜてフライパンで焼いて完成!

患者の背景を踏まえて治療にこだわる若手Dr. にご登場いただく欄

両側遊離端欠損にインプラントを応用し、欠損の拡大防止に努めた症例

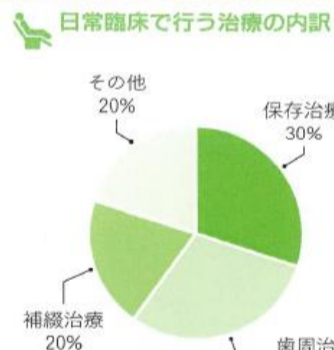


臨床経験年数
2004年、日本歯科大学卒業。明海大学歯周病学講座専攻生、JIADSペリオコース・補綴コース受講。日本臨床歯周病学会会員、JIADS CLUB会員、ペリオ・インプラント女子勉強会会員、川口ペリオインプラント研究会会員、情熱会会員。

診療方針
比較的高齢な患者が多く来院するため、治療だけでなく患者のプ

ライベートの話しも聞くことを大切にしている。患者の希望に添えるよう、1歯から全顎までライフステージに合わせた治療を提案できるように心がけている。

日々の臨床
JIADSや所属している勉強会で学んだ知識をベースに、患者ごとのバックグラウンドやライフステージに合わせた治療を総合的に行っている。



患者のバックグラウンド

患者
69歳、女性。明るく、温厚で、協力的。専業主婦。全身的既往歴：高血圧、非喫煙者。

主訴
下顎両側の白歯が徐々に動揺してきた。自発痛はないが、左側白歯は咬合時に違和感があるとのこと。

歯科既往歴
14年前に装着していた上顎前歯ブリッジが、歯根骨折で抜歯となり、義歯を装着した。その後、10年間

題なく過ごしていたが、4年前に765(567)ブリッジのうち支台歯である77が根尖性歯周炎のため抜歯となり、55を残してブリッジを切断した。現在は、右下のみに義歯を装着している。

その他
時間的余裕があり、歯の保存を強く希望しており、その保存のための自費治療を行うことに抵抗はなく、金銭的余裕もある。

検査・診断、治療計画

どのように検査を進め、診断したか：主訴である55は歯根が短く、動揺度は57が1度、56が2度であった。口腔内写真、パノラマエックス線写真、顔貌写真などにより、骨隆起が認められることや、下顎角が張っていることからブラキシズム傾向であ

ることがわかった。白歯部の咬合高径が低い状態で補綴治療が行われたことにより、下顎前歯が上顎を突き上げ上顎前歯が喪失し、さらに、アンテリアガイダンスを失ったことで白歯に咬合負担がかかり、77に強い症状が出たと推察した(図1、表1)。

小さい頃、祖母が医者だったこともあり、昔から医者になりました。おばあちゃんは96歳まで現役医師。

子供の頃、わたしはこれになりたかった



ひらおか まちこ
平岡 真千子

40周年記念と60歳記念が開かれ、60歳記念には自伝が皆に配られました。「私が1人になっても、患者さんがひとりでもいればみていきたい。」「痛い思いをして「ありがとう」と言われるのは、医者しかないんですよ。」と言われて、目指して来ました。それもあってか、私は「医師」という職業をとっても大切にしています。

縁あって今は歯科医師です。メンテナンスなどでも、必ず月一でいらしてください。患者様、「あなたじゃなければダメなのよ」と言ってくれる患者様、それはわたしのやりがい입니다。勉強は常に行うことが大切です。先日、論文を雑誌に投稿したのでお載せします。おばあちゃん、私頑張ってるよ。

(歯科医師 平岡)



子どもの頃、
私はこれにないたかった

私は保母さんになりたかったです。
なんで、そう思ったか覚えてないですが、ずっとそう思っていたと思います。

3歳下の妹が出来て、俄然、小さな子供のお世話をするのが楽しかったです。
ただ、ある時、妹を抱っこしたら急に泣き出してしまい、驚いた私は妹を放り投げて、タンスの角に頭をぶつけ母に怒られたのを覚えています。
妹は、これがあったから馬鹿になったんだと言いますが、そんな事なく大きな会社に勤めながら、小学生になった息子(イケメン)を育てる立派な母になりました。
いつの間にか、保母さんになる夢は隅の方においやられ、今に至ります。



坂本勇人選手は、幼少期から野球選手になりたかったのかな。

坂本勇人選手は、3兄弟の真ん中っ子で、勇人という名前の由来は、第58代総理大臣池田勇人氏から大きな人間になれるようにと名付けられたそうです。
お兄さんは勇太さん、弟さんは勇斗さんという全員「勇」が付くお名前のようなです。
弟さんの勇斗さんは、坂本選手のマネージャーをしています。



坂本選手が野球を始めたのは小学生の頃、昆陽里タイガースというチームに所属
この時坂本選手はピッチャーで、バッテリーを組んでいたキャッチャーはなんと楽天イーグルスの田中将大投手なんです！(以前記事でお話しましたね)
幼少期から、チームのメンバーだったお兄さんの練習に付いてきて、グラウンドの隅で壁に向かってボールを投げる遊びをしていたそうです。



坂本選手は、左利きですが、お兄さんのお古のグローブが右利き用だったので、右利き用のグローブで練習した結果、右投右打になりました。箸やペンは左で黒板は右なんだそうです。器用ですよ。



今や球界を代表するプロ野球選手に成長され(上から目線です)、今シーズンから三塁にコンバートされてもゴールデングローブ賞が確実にと言われるほど、信頼の厚い選手となりました。



そうそう、今月6日に東京ドームで行われたロッテ戦で落合博満さんの記録通算2371安打を抜く2372安打目を坂本選手が達成した。
この日の記録を達成した日、「6」にまつわる奇跡が起きていた。

令和6年6月6日のロッテ戦の6回、背番号66のロッテ・沢田圭佑から背番号6の坂本が現役時代に背番号6を背負った落合氏の記録を抜いた!!!
…なんてこともありました。



これからもジャイアンツファンのみならず、野球ファンに夢を与える選手として、楽しませて欲しいです。
(歯科助手 大石)



新しいジャイアンツのユニフォームです♪



ティップ先生 タイから がやってきました!



子供の頃、私はなりたと思っていたものは、

子どもの頃から、私はなりたと思うことがたくさんありました。

私は小学生の頃、理科にはまっていた、理科の授業で実験をするのが大好きでした。その当時、先生が私に何になりたいかと尋ねたときは、答えは「科学者」になるでしょう。

小学校5年生の時、先生たちが星キャンプに連れて行ってきて、星がいっぱいの星空を見ることがありました。本当にすごいと思いました。その頃から、私は天文学者になりたと思いはじめました。宇宙や宇宙についての本も読みました。それはとても興味深く、宇宙がどのように機能し、宇宙には非常に多くのものが存在することは驚くべきことです。また、宇宙やNASAについてのドキュメンタリーも見て、NASAで働きたいとも思いました。宇宙飛行士のように宇宙に行く夢もみていました。

中学が終わるまで、私は天文学者になる道がかなり難しく、数学と物理学が好きではなかったことに気づきました。私の国でも天文学者になることは難しいのです。

高校の時、私は生物学が大好きとは感じていましたが、まだ自分が何になりたのか分かっていません。私は多くの大学のオープンハウス活動に行きました。多くの専攻の大学生が、入居者になるためには何を学ぶべきかについて案内してくれました。その後、私は医療の分野で働きたいと思いました。ガウンを着て病院で働いて、病気から人を救うのは本当にクールに見えました。

それから、私は歯医者になりました(今でも夜空の星を見るのが好きです)。

私は歯科学学校の講師になり、人々の口腔健康を助け、若い世代にインスピレーションを与えたいと考えています。

(Dr.ティップ)



アモンスラデート シリンティップ

- 2016年 タイ・マヒドル大学歯科外科学部卒業
- 2016-17 マイドル大学歯学部地域歯科学科の教員として勤務
- 2017-2018 チュラロンコン大学公衆衛生科学大学公衆衛生学修士
- 2018-2020 マヒドル大学歯学部地域歯科学科の教員として勤務
- 2021-2025 東京医科歯科大学嚥下障害リハビリテーション学部大学院生



When I was a child I wanted to be...



From childhood there were many things that I wanted to be.

When I was a primary school student, I was into sciences and loved doing experiments in science class. So when the teacher asked me what I wanted to be, the answer would be 'a scientist'.

About 5th grade primary school, teachers brought us to star camp and they showed me the starry night sky full of stars. I thought it was so amazing. So from that time, I wanted to be an astronomer. I also read books about the universe and space. It was very interesting and it's amazing how the universe works and there are so many things out there in space. I also watched some documentaries about space and NASA and it made me want to work in NASA. I dreamed of going to space like an astronaut.

Then, until junior high school ended I realized the track to be an astronomer is pretty hard and I didn't like mathematics and physics. The track of being an astronomer is also difficult in my country.

In high school, I discovered that I love biology, but haven't figured out what I wanted to be yet. I went to open house activities of many universities. The university students in many majors guided us about what we have to learn if we want to become those occupants. Then I discovered that I wanted to work in a medical field. It looks really cool to work in the hospital wearing gowns and saving people from sickness.

Then, I became a dentist(who still enjoys looking at the stars in the night sky).

I am becoming a lecturer in a dental school who wants to help people to have good oral health and want to inspire the young generations.

